

「当たり前をつくってくれる人」

にしむら かいち

みなさんは、「家族」とは何か、考えたことはあるだろうか。身近な存在で、自分とさまざまな関わりをもつ家族だからこそ、いろいろな考えが頭をめぐり、うまく答えられない人もいるだろう。ぼくも、何が家族なのかが分からず、少しなやんだが、今までの思い出をふりかえっているうちに、答えが出た。「当たり前を当たり前にしてくれる。」それが家族なのだとぼくは思った。

なぜこう思ったのかというと、ぼくたちの当たり前の日常は、家族がいるから成り立っているのだと気づいたからだ。朝起きたら朝食を食べ、学校に行き、授業を受け、友達と遊び、家に帰り、夕食を食べ、ふかふかのベッドでねる。どれも全て、家族がいるからこそできることである。仮に、家族がいなければどうなるのだろうか。自分でご飯が作れたとしても、食材を買わなければいけない。自分でご飯を作れない人だったら、そもそもご飯を食べること自体、ほとんどできない。学校にも行けず、学ぶことができない。そんな生活を考えることはできるだろうか。ぼくは、絶対にできない。

ぼくは、家族がいるのが当たり前の日常を送っている。でも、世の中にはさまざまな事情があつて、家族がいない人もいる。そう考えると、ぼくは本当にめぐまれているんだと分かった。家族がくれた「当たり前」を大切にして、これからも生きていきたい。家族のみんな、いつもありがとう。大好きです。